



(市民の山のひとつ「太郎山」を背にして)

☎ 秘書課 22・3435

3月27日(日)の上田市市長選挙で2期目の当選を果たした土屋陽一市長が、3月30日(水)に、当選後初めて登庁しました。

晴天に恵まれ、うららかに春の陽が降り注ぐなか、お集まりの皆様から温かな拍手で迎えられ、市政への抱負を語りました。

※新型コロナウイルス対策を講じて規模を縮小して開催しました。



初登庁式の様子はこちら

初登庁式 市長あいさつ(要旨)

ごあいさつの前に、市役所庁舎に向かって一礼をさせていただきます。4年前、平成30年4月9日の初登庁式でも、当時の本庁舎に向かって一礼をいたしました。今、振り返ると、市長に就任して、庁舎に向かい、ここで働かせていただくという感謝の気持ち、市役所から市民の皆様にも幸せがもたらされるようにという願い、そして市長としてしっかりと尽力していくという誓い、このような思いを込めて一礼をした当時の心境がよみがえります。

本日も、4年前と変わらぬ気持ちでありますが、ただ違うのは、この4年間の皆様方のご支援、また、市長選挙を通じて多くの方から温かい励ましの言葉をいただき、二期目も市長という重責をしっかりと担わせていただくという覚悟であります。

さらに、昨年5月に新本庁舎が開庁してから間もなく一年を迎え、旧本庁舎の解体も進んでおりますが、新しい庁舎で、新たな気持ちで市政をしっかりと進めていこう、旧庁舎から新庁舎に変わるのを機に、市役所自体も新たな体質に脱皮を果たそう、という思いも強く湧いてきています。

そのような気持ちを含めまして、先ほどは一礼をさせていただきました。この場所からは、太郎山がよく見えます。かつて、山極勝三郎博士は、「悩

んだときは太郎山を見よ」と言われたことがあったそうです。私も、太郎山を見ながら心を整え、また、市民の皆様と気持ちを同じくして、「上田再構築もっと、前へ」という思いで、二期目に向けて力強く歩んでまいりたいと思っております。

3月27日には、市長選挙と共に、上田市議会議員一般選挙も行われました。市議会の皆様とは、二元代表制の両輪として共に市民を代表する立場であり、市民の幸福を願う思いは共通でございますので、市政発展のため共にしっかりと取り組ませていただきたいと思います。

私の初登庁に際し、多くの皆様にご参集いただいたことを心から感謝申し上げます。

「上田再構築 もっと、前へ」これから4年間、しっかりと進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



初登庁式に続いて行われた着任式では、職員に向け、仕事に対する心構えを述べました。

市長着任式あいさつ(抜粋)

「職員は、幸せ創造仕掛人であれ」このことは、市民の皆様、また、身のまわりの方が幸せになるような仕組みを作ることです。同時に、職員一人ひとりも幸せであってほしい。人の喜びを共に喜び、幸せにする人が幸せになる、そのような思いで、「幸せ創造仕掛人」を目指し、職務に励んでください。

若手職員の育成にも力を入れてください。若い職員も高い志を持って仕事に従事しておりますので、その志を認め、また、自由に意見を言える雰囲気づくりに努めてください。

これまでの4年間、自然災害や新型コロナウイルスなど、さまざまな困難がありました。市として必要な事業を着実に推進し、将来の上田市を見据えた方向付けをしてまいりました。市民の命と生活、暮らしを守る、また、将来にわたり守り続ける、という原点に立ち、職員の皆さんと共に市政を推進してきたという自負があります。

「上田再構築 もっと、前へ」と進めるべく、私は、これからの4年間、職員の先頭に立ち、しっかりと責任を果たしてまいりますので、これまで以上に自信をもって仕事に取り組み、上田市のさらなる発展のため、市役所一丸となって市政を推進してまいります。

市民一人ひとりに陽があたり、  
あなたが誇り輝く  
新時代を先駆ける上田をつくる。



上田再構築プラン Ver.2.0

緊急課題

新型コロナウイルス感染症対策と即効性のある社会経済対策



大切な市民の命を守り続ける  
医療体制の充実を推進する



教育・子育て環境・文化の  
充実を促進する



福祉を充実し、多様性を尊重  
した地域共生社会を実現する



日本を代表する  
循環型社会をつくる



DXやGXなどの革新的技術でSDGsを推進、  
人と自然が調和した活力あるまちをつくる

DX(デジタルトランスフォーメーション)：ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること  
GX(グリーントランスフォーメーション)：経済成長と環境保護を両立させ、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」